

## 県内各市町村の要望ヒアリングと意見交換 現場の声を国に届ける!

県内の市町村長、市町村議会の皆様とお会いし、国への要望と地域課題を意見交換。



皆さんからの要望は、防災対策の強化、地域公共交通の維持発展、地方のバリアフリー整備状況、農林水産業の現場の状況、地域医療、ILC、日本海溝千島海溝地震津波への対策、再生可能エネルギー、道路整備など私たちの生活に大切なことばかりであり、重要な課題です。

これからも、現場～自治体～県～国と情報を共有し、皆さまの生活のお役に立てるよう一生懸命に取り組めます。『政治は生きるためのもの、生活そのもの』です。

PICTURE REPORT 岩手から国会、そして世界へ。

## 皆さんの声を聞く!



生産者の方から現場の声を聞く



盛岡市消防演習。高齢者・障害者も利用できる段ボールベッド



EV充電施設のバリアフリー状況視察



障害者アクセシビリティ法成立。党内のとりまとめ役に



参議院議員会館にて、復興物産フェア



「水田活用直接支払い交付金」法案提出



国道4号一関平泉地区4車線化期成同盟会



三陸町にて磯焼けの実態を実際に潜って視察



▲2021.8.13 ドイツ新聞 nd.Der.Tag



▲2021.9月号 DIRT SPORTS



北京パラリンピック 高橋幸平選手激励会



羽田次郎参議院議員とデュアルスキー体験

# 誰も取り残されない社会へ。

参議院議員

横沢たかのり

特集号



1972年 紫波郡矢巾町生まれ。不動小、矢巾中、盛岡工業高卒。スズキのテストライダー等を経て全日本モトクロス選手権などに参戦。1997年 練習中の事故で脊髄損傷。車いす生活となりチェアスキーに転向。2010年 パンクーパー・パラリンピック アルペンスキー日本代表。2014年 ソチ・パラリンピックNHK解説者。2019年 参議院議員選挙 岩手選挙区 初当選

本号では横沢たかのり参議院議員の活動と所信をお知らせします。

日頃より私の政治活動にご支援とご厚情をいただき、心より感謝申し上げます。先の参議院議員選挙は、立憲民主党に対し非常に厳しい結果となりました。結果を真摯に受け止め、これまで以上に、国民の生活向上、「国民の生活が第一」の国づくりに取り組んで参ります。

現在の我が国を取り巻く状況は、「新型コロナ」「物価高」「人口減少の加速」など、国民の生活の現状を考えると「待ったなし」の課題ばかりです。そのような中、本年1月から6月に開かれていた第208回通常国会は、上記課題への対策と同時に、こども家庭庁設置法や経済安全保障推進法など、この国の未来をどのような姿にしていくのか、重要な法案や政治課題が議題になりました。

それと同時に『障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律』や『困難な問題を抱える女性への支援に関する法律』の成立など、自分のライフワークである「すべての人々に優しい社会の実現」に向けて政策を前に進めることができました。

それもひとえに、ご支援くださる皆様お一人お一人の力が国を動かし、社会を変えたのだと思います。そのお力添えに心から感謝申し上げます。これからも皆様と共に、希望の持てる未来の国づくり、「強くやさしい日本」をめざし、この国を力強く動かしていくために、全力で頑張る参ります。



ご相談・お問い合わせは…

参議院議員 **横沢たかのり** 事務所

RIKKEN MINSHU 号外  
2022年 8月8日  
http://cdp-japan.jp/

立憲民主  
The Constitutional Democratic Press



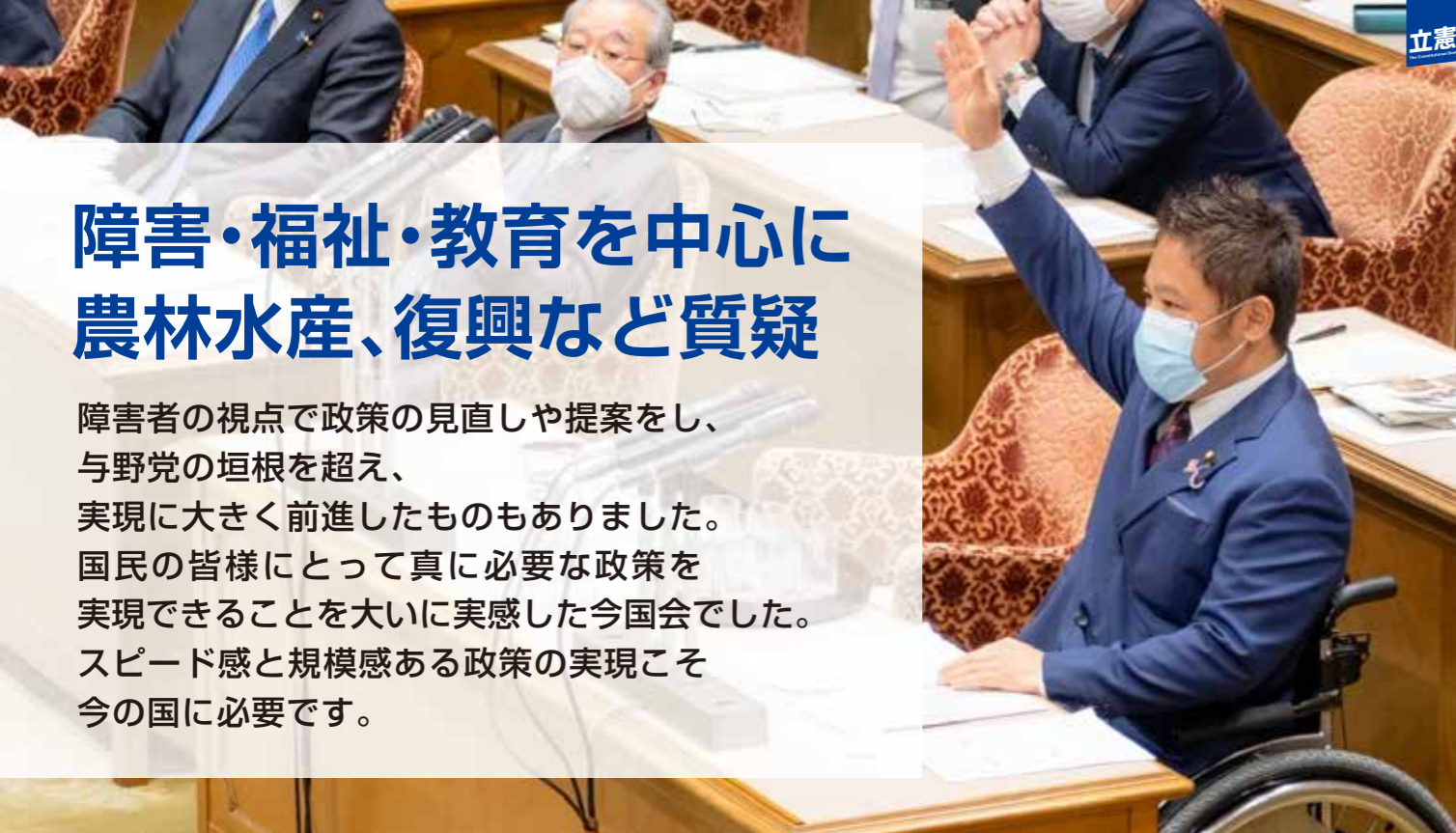
地元 〒020-0022 盛岡市大通3-1-24 第三菱和ビル5F  
TEL 019-625-6601 FAX 019-625-6603

国会 〒100-8962 千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館702号室  
TEL 03-6550-0702 FAX 03-6551-0702

E-mail office.yokosawa@gmail.com  
<https://yokosawa.net>

日々の活動はSNSで! f t  
サポーター・インターン募集中!

参議院議員 **横沢たかのり**



立憲民主

# 障害・福祉・教育を中心に 農林水産、復興など質疑

障害者の視点で政策の見直しや提案をし、与野党の垣根を超え、実現に大きく前進したものもありました。国民の皆様にとって真に必要な政策を実現できることを大いに実感した今国会でした。スピード感と規模感ある政策の実現こそ今の国に必要です。

## 3/11 予算委員会

### ○EV充電施設のバリアフリー状況は

**横沢たかのり** ▶ カーボンニュートラルに向けたインフラ整備を進める中で、道の駅やSA・PAなどのEV充電施設が車椅子ユーザーに配慮されていない事例が見られる。

**斉藤国交大臣** ▶ ユニバーサルデザインのガイドラインの周知徹底につとめているが、今後更に事業者と連携を取っていく。

**萩生田経産大臣** ▶ 国交省と連携を取って普及を進めていく。

**横沢たかのりの視点** ▶ この質問がきっかけで、道の駅、SA・PAのEV充電施設のバリアフリー状況の全国調査が開始されました。

### ○被災地の子どもたちに居場所を

**横沢たかのり** ▶ これまで激動の11年を過ごしてきた子どもたち、目まぐるしく変化してきた生活環境の中で、中には自分の居場所や生きる目的が見つけれずにいる子どもたちがいる。学びや居場所の課題解決に向けた国の取り組みを継続すべき。

**西銘復興大臣** ▶ 被災者支援総合交付金は、自治体から必要な予算を聞きとって積み上げている。

**末松文科大臣** ▶ 現場の声を聞き、長く続く問題と思って引き続き取り組む。

**横沢たかのりの視点** ▶ 自治体が聞き取れない現場の声は、国がプッシュ型で直接汲み取る仕組みも必要です。

## 1/19 議院運営委員会

### ○コロナ対応は障害者への合理的配慮を

**横沢たかのり** ▶ コロナ療養施設となっているホテルで障害者対応の部屋はそんなに多くない。また視覚障害者はパルスオキシメーターの表示が見えないなど、各現場での合理的配慮が重要ではないか。

**山際コロナ担当大臣** ▶ その視点を議論の中にしっかり盛り込んでいきたい。

### ○スピード感ある事業復活支援金を

**横沢たかのり** ▶ 厳しい状況に置かれている事業者にできるだけ早く支援金を届ける考えはないか。

**山際コロナ担当大臣** ▶ 1日も早く支給できるよう対応したい。

**横沢たかのりの視点** ▶ コロナ対策はとにかくスピード感が大事であることを要請し、誰一人取り残されることのないように強く要望しました。

## 2/10 議院運営委員会

### ○社会福祉協議会の職員体制強化を

**横沢たかのり** ▶ コロナ対策で実施している緊急小口資金や総合支援資金の手続き等で社会福祉協議会の業務量が増えている。本来の業務が滞ることのないようにしてほしい。

**山際コロナ担当大臣** ▶ 問題意識を共有する。

**横沢たかのりの視点** ▶ コロナ対策では保健所が注目されていますが、社会福祉協議会も業務量が激増していることを指摘。コロナ対策に一石を投じる質問となりました。

## 12/22 農林水産委員会

### ○なぜいま水田活用の直接支払交付金を見直すのか？

**横沢たかのり** ▶ 今後5年間、一度も水張りをしなかった水田は交付対象から外すことになったが大臣の考えは？

**金子農水大臣** ▶ ルールを再徹底することにした。需要ある作物の生産に取り組む生産者が前向きに農業を続けていけるようしっかり支援する。

**横沢たかのりの視点** ▶ 現場では厳しい声。農業には地域社会を守り、食文化や伝統文化を守り育てる役割もある。「国を守る」という大きな視点で農政に取り組みたい。

## 3/16 農林水産委員会

### ○幅広い品種に燃料高騰支援を

**横沢たかのり** ▶ 燃料高騰対策の中で、マッシュルーム栽培には支援があるのにきのこ栽培はなぜ除外されているのか。

**金子農水大臣** ▶ キノコ類の施設の加温、製品の乾燥にはA重油等を使用しているが、経費の1割程度である。施設園芸の2〜3割より低いことから、施設園芸セーフティーネット構築事業の対象外となった。きのこが除外されている点は、要望があれば検討する。

### ○不漁の原因を徹底説明せよ

**横沢たかのり** ▶ 近年サケやサンマ、スルメイカなど主要魚種で不漁が続いている。水揚げの回復に向けた調査研究に注力してほしい。

**金子農水大臣** ▶ 調査費も投入しているが、なかなか難しい問題だ。

**横沢たかのりの視点** ▶ 燃料高騰対策でマッシュルーム(農水省)は支援され、その他のキノコ類(林野庁)は対象外という縦割り行政の弊害を指摘、林業に対するセーフティーネットの必要性を訴えました。また、不漁が続く主要魚種について徹底的に原因を解明するよう要望。

## 3/25 震災復興特別委員会

### ○被災地の公共交通を守れ

**横沢たかのり** ▶ 高齢化が進み、車がなければ病院にも行けないという声を聞く。地域公共交通の維持への取り組みは？

**政府参考人** ▶ 被災地特例を適用しコミュニティーバスなどの運行を支援してきた。これからも被災者の方々の声を伺いながら生活交通の確保に取り組む。

**横沢たかのりの視点** ▶ ハード事業については一段落かもしれませんが、移転元地の問題など積み残しの課題は山積しています。ソフト面も含め、引き続き被災地の復興に取り組んでまいります。

## 4/26 農林水産委員会

### ○農福連携の現場に移動トイレを

**横沢たかのり** ▶ 農福連携がより一層進むよう、障害者も使える移動可能なトイレの環境整備はできないか。

**金子農水大臣** ▶ トイレは農山漁村振興交付金で整備できるが、移動トイレは目的外使用の可能性があり対象外だ。しかし障害者が従事する上で移動トイレは有用であり、導入に向けての取り組みを進めていきたい。

**横沢たかのりの視点** ▶ 圃場にトイレを整備すればそれではではなく、車いすを使う側の視点で質問し、実現に向け大きく前進しました。

## 5/12 農林水産委員会

### ○海へ流れ出るプラスチックを減らせ

**横沢たかのり** ▶ プラスチックコーティングさせた水田用肥料の殻が川や海に流れ込み、環境を悪化させるおそれがある。全農は2030年までにプラスチック被覆肥料に頼らない農業を掲げているが、農家にはどのように周知されているのか。

**政府参考人** ▶ 農水省としてはパンフレットやホームページにまとめ周知を図っている。

**横沢たかのりの視点** ▶ 陸と海はつながっているという観点から、プラスチック被覆肥料を減らせるよう関係各所に働きかけていきたい。



今回は農林水産政策を中心に質問を行いました。復興も障害者政策もまだまだ道半ば。引き続き国に働きかけながら、すべての人に優しい社会の実現に向けて頑張ります。



国会  
WATCH

## 青森県選出 田名部匡代議員と質疑を分担

農林水産委員会では、おとなり青森県選出で農政に精通する田名部議員から学びながら、田名部一横沢の順番で質疑することもしばしば。現場の声を直接大臣につけ、政府与党が見落としている点を指摘するなど、岩手の大切な産業である農林水産業の発展につながればとの思いで質問しています。